

## 肝臓移植のドナー適応基準・レシピエント選択基準の改正について（案）

### 1. ドナー適応基準の改正（別紙 1）

慎重に適応を検討する対象として「HBc抗体陽性」及び「先天性の代謝性肝疾患の保有の可能性のある者」を追加する。

また、重度の全身性疾患に関する項目を集約する。

### 2. レシピエント選択基準の改正（別紙 2）

#### （1）血液型の取り扱いについて

- ① 生後 24 ヶ月未満の小児については血液型不適合の場合も一致・適合の場合と同等程度の生着率であり、臨床においても血液型不適合のための術前処置は不要とされていることに鑑み、移植を行う医学的緊急度の高い者に限り、レシピエント選択の対象とする。
- ② ①により対象となる者を含め、生後 24 ヶ月未満の者については医学的緊急度 9 点とされている者は血液型の一致、適合、不適合にかかわらず、血液型の加点を 1.5 点とする。

#### 【検討事項】

更に生後 24 ヶ月以上の者であって、医学的緊急度が 9 点とされている者は一致、適合にかかわらず血液型の加点を 1.5 点とする

#### （2）分割肝

分割肝にするか否かの判断については、現状通り、第 1 位候補のレシピエントに係る移植実施施設にゆだねることとし、今回はレシピエント選択基準に盛り込まないこととする。

#### （3）肝臓小腸同時移植の位置づけ

肝小腸同時移植希望者が肝臓レシピエントリストで 1 位になった場合、小腸レシピエントリストでの順位にかかわらず、当該者に小腸を優先的に移植することとする。

一方、肝小腸同時移植希望者が小腸レシピエントリストで 1 位になったとしても肝臓を優先的に移植することにはしない。（この場合、肝臓は肝臓レシピエント 1 位の者に移植される。）

#### （4）小児ドナーからの提供の場合のレシピエント選択

#### 【資料 2】